

学生の養護教諭の職務に関する認識Ⅱ —養護教諭イメージと母親イメージについての考察—

鈴木 薫 (教育心理学科), 頼本千恵子 (元岡山市立大宮小学校)

Students' Images and Understanding of the Function of *Yogo* Teachers: A consideration about the images of *Yogo* Teachers and mothers

Kaoru SUZUKI (Department of Educational Psychology)
Chieko YORIMOTO (Ex-Omiya - Elementary School of Okayama - city)

キーワード：学生, 養護教諭, 母親, イメージ

抄 録

「養護教諭の職務において求められる母親的役割」を明らかにすることを目的として、201X年の養護学概論Ⅰ受講生77名を対象に、学生の母親に対するイメージ及び養護教諭イメージと母親イメージの関係について、質問紙による調査を行い検討した。その結果、学生は養護教諭にも母親にも多方面にわたる専門的能力を期待しており、養護教諭には、その場の状況に応じて臨機応変に、その専門性を活かした対応ができる能力を望んでいる。それらの能力の獲得とともに、養護教諭自身のアイデンティティーの確立と精神衛生の確保も重要になると思われる。これらの能力を向上させるためには、現職教育や養成教育のあり方、養護教諭からの情報発信が支持される協働的風土を持つ学校組織づくり等が必要であると考えられる。

I はじめに

社会的存在である人は、他者から期待される一定の行動や特徴により社会的役割を獲得していく。養護教諭はこれまで、「学校のお母さん」¹⁾や「養護教諭の母親代理」^{2,3)}などの例のように母親的役割と密接につながっている。深谷¹⁾はその中で、現代の家庭の趨勢である「母親不在」から生まれる子どもの不安定感を補うために、子どもにとって家庭の延長線上にある「学校」にも、家庭と同じようにいつもいてくれる「お母さん」が必要な時代になったのではないかと述べている。また、すべての子どもにとって学校を安定感がある場所にするために、クラスを心の居場所にする努力が続けられているが、雰囲気などについていけない子どもにとって一時的な逃げ場となる保健室と、養護教諭の「学校のお母さん」としての存在の重要性にも触れている。保健室利用状況に関する調査報告書⁴⁾に